

県内外から1,450人が出場

第21回南島原市原城マラソン大会

2月26日に第21回南島原市原城マラソン大会が、原城周辺コースで開催されました。今大会には県内外から1,450人の出場がありました。ゲストランナーは、十八銀行女子陸上部の藤田真弓・扇まどか両選手とV・ファールン長崎。

また、南有馬町時代から交流を深めている香川県小豆島町から竹内章介副町長ら選手団が来市。7組の親子がファミリーの部に出場しました。

- ①元気にスタートする子どもたち(小学生の部)
- ②ゴール付近では、多くの声援の中、デッドヒートが繰り広げられました
- ③原城跡を走る出場者ら。抜群のロケーションを楽しみに訪れるランナーも多いそうです。

- 南島原市在住の優勝者
—敬称略—
- 2km(小学生男子4年) 竹下 魁渡(梅谷小)
- 2km(小学生男子5年) 石川 太晤(深江小)
- 2.5km(ファミリー) 松尾 謙優輝(有家)
- 3km(中学生男子) 山村 尚耶(北有馬中)
- 5km(高校生男子) 安達 公人(鎮西高校)
- 5km男子(19~29歳) 穂山 春樹(西有家町)
- 5km男子(30歳~39歳) 小川 光洋(西有家町)
- 5km男子(40歳~59歳) 竹村 一(西有家町)

彫塑界を代表する

北村西望の作品にうっとり

北村西望特別展



西望記念館のリニューアルオープンを記念し、「北村西望特別展」が行われました。

3月1日にはオープニングセレモニーを実施。地元住民ら40人が出席しました。テープカット後、展示物の説明がありました。

特別展では、平和祈念像が制作された井の頭自然文化園彫刻園(東京都武蔵野市)のアトリエや、島原城の西望記念館の所蔵する作品などを展示しました。来館者は、日本の彫塑界を代表する北村西望の作品に見とれていました。

多彩な催しでにぎわう

ありえ蔵めぐり春の陣



2月18日、19日の2日間にわたって、ありえ蔵めぐり春の陣が、有家町内5つの蔵と加盟店で開催されました。今回の目玉は、百年蔵のひな飾り。また、今回は、「来てみんね!長崎(食KING王国)」総合プロデューサーの西川りゅうじん氏を招いたガイドツアーやトークショーも開催され、多彩な催しでにぎわった2日間となりました。



各委員会から報告書を提出

有馬商業高校跡地・前浜周辺の検討委員が市に報告



有馬商業高等学校が、閉校後学校施設が活用されていないため、昨年7月に「南島原市有馬商業高校跡地等活用検討委員会」を設置しました。

また、昨年8月に「加津佐前浜周辺整備事業検討委員会」を設置し、加津佐前浜周辺の整備について検討してきました。

両委員会ではさまざまな視点から十分に協議を行い、2月20日に両委員会から報告書が市長に提出されました。

今後、市では報告書をもとに、活用方法などを決定します。

オリンピックランナーが直接指導

走食系チルドレン育成プロジェクト



3月8日に走食系チルドレン育成プロジェクト(日清食品グループ主催)が、加津佐東小学校の5、6年生を対象に実施されました。講師は、2004年アテネオリンピックのマラソン代表の諏訪利成選手が務めました。

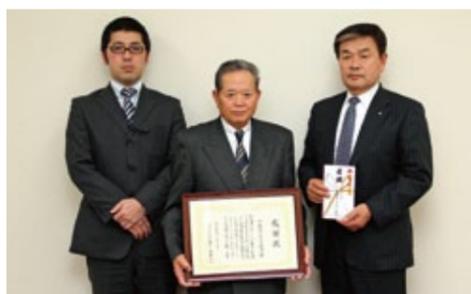
諏訪選手は、これまでの体験談を語り、子どもたちの未来に向けたメッセージを送りました。

ランニング教室では、諏訪選手と一緒にランニング。

児童たちは、正しい走り方と正しい食の知識を学びました。

「Siセンサーコンロ」25台を寄贈

社長崎県LPガス協会



2月26日に、(社)長崎県LPガス協会が、南島原市に高性能ガスコンロ「Siセンサーコンロ」25台(約300万円相当)を寄贈されました。

これは、社会貢献や油の加熱防止機能など安全性が高いSiセンサーコンロの普及などを目的としたものです。

今回、寄贈いただいたコンロは、市内7公民館に設置し、有効活用しています。

ご寄付ありがとうございました。

青い海を眺めながら 駆け抜ける



3月4日に、鹿児島県と論町で第21回ヨロンマラソンが開催されました。平成18年3月に、口之津町と与論町は姉妹町として締結。交流は合併後も続いています。

今回、南島原市からは5人の選手が出場しました。その内の一人山本栄治さんは、ヨロンマラソン特別大使として任命を受けており、力強く選手宣誓を行いました。

藤原市長はハーフマラソンとフルマラソンのスターターを務めました。選手団はみんな無事完走。与論町民から大歓迎を受け、次の日には島内を視察し、口之津町と与論町との関わりを学びました。

約300点の ひょうたん芸術がずらり



3月3、4日に第14回有馬ひょうたん展(有馬愛瓢会主催)が、北有馬ピロティー文化センター日野江で開催されました。会場には色とりどりのひょうたん約300点が、会場いっぱい並べられました。

両日とも市内外から多数の来場があり、丹精込めて繊細に加工されたひょうたんは、来場者の目を楽しませていました。